

2025年11月14日

各 位

会 社 名：ウインテスト株式会社
(コード：6721 東証スタンダード市場)
代表者名：代表取締役 姜 輝
問合せ先：管理本部長 鎌田 文明
(TEL：045-317-7888)

棚卸資産評価損、営業外収益及び特別利益に関するお知らせ

2025年12月期第3四半期連結会計期間（2025年7月1日～2025年9月30日）における棚卸資産評価損、営業外収益及び特別利益に関しまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 棚卸資産評価損（売上原価）の計上

当社グループは、当第3四半期連結会計期間において、当社が保有する棚卸資産に関して定額により簿価引き下げを行い、当社が定めた会計上の見積りの方針に従い、合計で63,139千円の棚卸資産評価損（売上原価）を計上いたしました。

なお、中間連結会計期間において、棚卸資産評価損（売上原価）115,861千円を計上しておりましたため、2025年12月期第3四半期累計期間における棚卸資産評価損（売上原価）は、179,000千円となりました。

当該棚卸資産に関しましては、第4四半期以降出荷される製品にすべて組み込む予定であります。

2. 営業外収益（補助金収入）の計上

当社連結子会社（偉恩測試技術(武漢)有限公司）は、2024年12月26日付にて中華人民共和国湖北省よりハイテク企業である旨の認証を受け、当第3四半期連結会計期間において、認証に伴う報奨金を受け取りました。

当該報奨金を受け取ったこと等により、当社グループは、当第3四半期連結会計期間において補助金収入1,185千円を計上いたしました。

なお、中間連結会計期間において、既に補助金収入 1,151千円を計上しておりましたため、2025年12月期第3四半期連結累計期間における補助金収入は、2,337千円となりました。

3. 営業外収益（スクラップ売却益）の計上

大阪事業所は、当第3四半期連結会計期間において、事業所内清掃を行い、不要な鉄くずなどのスクラップを売却いたしました。それにより当社グループは、当第3四半期連結会計期間において、スクラップ売却益 1,846千円を計上いたしました。

なお、当第3四半期連結会計期間において「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」に基づき、スクラップ売却益を区分して掲記することとしたため、中間連結会計期間までに発生したスクラップ売却益分 34千円は営業外収益「その他」から「スクラップ売却益」へ振替処理を行っております。

4. 特別利益（新株予約権戻入益）の計上

2020年2月20日開催の取締役会において決議いたしました第8回新株予約権は、2025年7月31日をもって権利行使期間が満了し、消滅いたしました。

この結果、当第3四半期連結会計期間において、新株予約権戻入益 8,702千円を特別利益として計上することとなりました。

5. 業績への影響について

上記の棚卸資産評価損、営業外収益及び特別利益の業績への影響については、本日公表の「2025年12月期 第3四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以上